前展フロンティア



URL http://www.cskobe.com/

E-MAIL info@cskobe.com

発行人:中村順子 編集人:岡本雅士

2014年新春巻頭言



「流行語でパロディる、CS 神戸の活動」

理事長 中村 順子

明けましておめでとうございます。

年末、年始には日本中で様々なイベントが行われますが、楽しみにしている一つに流行語大賞の発表があります。2013 年は年間 大賞としては史上最多の 4 つの言葉が選ばれました。 <u>倍返し</u> <u>今でしょ</u> <u>お・も・て・な・し</u> <u>じぇじぇじぇ</u>、一つに絞れなかった ことに不満も漏れ聞こえましたが、多様な価値が表れてむしろ好感が持てました。

さて、これら年間大賞の4つの言葉や、トップテンに入選した言葉を散りばめ、CS神戸の活動をパロディ風に綴ってみました。ご笑納あれ!

昨年 CS 神戸では、例年にも増して新規事業の導入を試み、実現できた年でした。大和リース(株)との協働による「まちづくりスポット神戸」のスタートは、セクターミクスとでも言いましょうか、介護保険法改正に伴う市民参加型の「日常生活・総合事業の神戸研究会」、丹波にコミュニティビジネス支援機能を強化する「生きがいしごとサポートセンター全県展開」、本年 4 月からスタートする六甲道勤労市民センターにおける「地域活動支援センター」等、いずれも地道な取り組みが、信返しとなって実現できることになったのです。実はそれには、おもてなしで裏があるのです。ブラック企業も顔負けするほど、スタッフや役員そして協力者の皆様が、知恵とスキルと時間を出し合い、新しい社会に向け情熱を注いだからです。さらに認定 NPO 法人取得の効果も後押ししてくれました。

また決して忘れてはならない東北支援においては、生活復興円卓会議の委員(中村順子)として、今できることつまり、今でしょ!を 15 の提言としてまとめ(2014 年 3 月予定)、被災地の現状打開に寄与します。 19 年前神戸で実践した「茶話やかサロン」を現地で「お茶っこサロン」として展開したり、介護予防としての新たな試み、通院介助や手作り品販売をコミュニティビジネスに仕組み化する等、神戸の経験と東北の資源を、震災ミクスとして応援しています。これまで以上に多くの市民の方々が地域活動に参加できる機会が再びですが、倍返しとなって増えそうです。

一方、世界のトップを走る日本の高齢化のスピード。高齢になってもいきいき暮らせる魅力的な社会をつくることに、特に当事者は

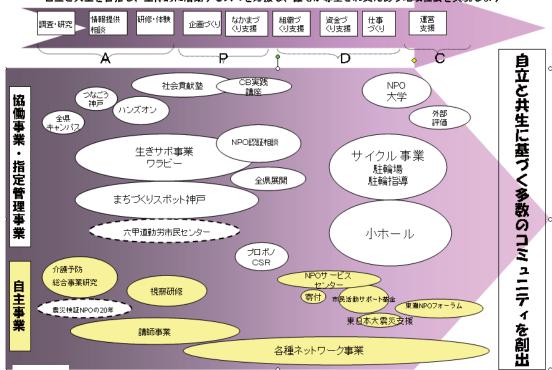
厳しい自覚を持たなければならないと思います。私もそのド真中にいるのですが、自分ができることや困っていることを、特定秘密保護セずオープンにすることで、見せましょう、高齢者の力を、見せましょう、市民の底力を。もちろんあなたと共に!じぇじぇじぇじぇ!って後ずさりしないで下さいね。

右は、真面目に CS 神戸の 全事業を関連付けたもので す。縁ある市民の皆さんの思 いが、この流れの中で受け止 められ実現できますよう、精 一杯お手伝いいたします。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。(中村)

2014年にみるCS神戸の事業関連図

"自立と共生を目指し、主体的に活動する人々を応援し、誰もが尊重され支えあう地域社会を実現します"





まちづくりスポット運営事業

「BRANCH 神戸学園都市」の中に誕生した交流スペース

オープニングセレモニーの様子



まちづくりスポット神戸は、大和リース株式会社が12月6日にオープンしたショ ッピングモール(コミュニティ型複合商業施設)である「BRANCH神戸学園都市」 の中に開設されました。地域で暮らす方々の活動をサポートすることが目的で、大和 リースと CS 神戸が協働で運営しています。立地は神戸市営地下鉄学園都市駅から南 へ徒歩で約15分の垂水区小束山手というニュータウンの入口です。地下1階、地上 2 階建ての施設には、スーパーマーケット、生活雑貨、アパレル、カフェやフードコ ートなど 42 店舗が出店しています。「BRANCH 神戸学園都市」に対して大和リー スは、「地域コミュニティを生み出し育むための情報発信基地」というコンセプトを 掲げ、交流スペースの開放だけでなく、コーディネーターも配置して「コト起こし」

の場にしたい、という熱い思いを持って取り組まれています。

CS 神戸に打診があったのは昨年5月のことでした。東灘に拠点を置く CS 神戸にとっては、神戸市西部の地域事情が分から ない部分も多く距離的な問題もありましたが、次のような理由から、初めてとなるショッピングモール内でのまちづくり活動に 取り組むことになりました。

①CS 神戸のミッション『自立と共生を目指し、より良い社会生活のために主体的に活動する人々をサポートするとともに、 自らの活動を通じて誰もが尊重され、支え合う地域社会の実現をめざす』に沿った事業である。②最終的に、現地で「まちづく りスポット神戸事業」を移管できるような NPO を育てることは、中間支援組織として果たすべき役割である。③垂水区・須磨 区・西区には、法人設立支援をした団体や講座修了生など、応援してくださる方がたくさんお住まいになっている。④企業と NPO がともに課題を共有し、知恵を出し合いながら、新しい価値づくりを行う CSV 事業である。(CSV: Creating Shared Value/共通価値の創出)

新たな活動をいち早く地域の方々にお伝えしたいという思いがあり、オープンに先立って昨年9月~12月に「まちそだて講 座」(全5回+BRANCH神戸学園都市の視察)を開催し、近隣の方々36名にご参加いただきました。講座では垂水区まちづ くり課の高田課長から「このまちってどんなまち」というテーマで、また兵庫県立大学の野津教授からは「このまちのために大 学ができること」というテーマで、それぞれの現状や課題についてお話しいただきました。その後は地域別、テーマ別にグルー プでディスカッションを行い、「こんなまちで暮らし続けたい」という思いを皆でまとめました。現在は相談日を設け、具体的 な活動に移行できるようサポートを続けています。

まちづくりスポット神戸は約40㎡程度の広さですが、①交流スペースの運営による地域コミュニティの活性化、②「まちそ だて講座」の開催を通じた人材育成、③大学・テナント会との連携を介した新たなつながりづくり、などにより、様々な活動が ここを基点に生まれていくような場にしていきたいと考えています。さらにNPO法人「子育ち家族サポートふるーる」に委託

し、子育て支援事業にも取り組んでいます。現在は毎週、月曜日「まちそだて 相談」、火曜日「ベビーガーデン(親子の交流の場)」、金曜日「子育て相談」を 実施しています。1月24日には「まちそだて講座」で出た意見から「県立大 学図書館訪問」を開催し、大学連携のはじめの一歩がスタートしました。

今後も「まちそだて講座」「まちそだてサロン」などさまざまなプログラムを 計画しています。地域活動を始める方の後押しをするための基金も準備中です。 スタッフ一同で力を合わせ、「こんなまちで暮らし続けたい」と思える魅力的な まちそだてのお手伝いができるよう頑張っていきます。スタートしたばかりの 『まちづくりスポット神戸』をどうぞよろしくお願いいたします。(向山)



- ガーデンの様子 (NPO法人子育ち家族サポートふるーる)

スタッフ紹介

●向山 良子(むこやま よしこ)



前職でも中間支援組織の NPO 法人で勤務しており、このたびも縁あって CS 神戸のスタッフに加えていた だくことになりました。企業との協働事業という大切なプロジェクトにかかわることになり、緊張の日々で もありますが、過去の経験や子育ての経験を活かす場を与えていただき感謝しています。神戸市西部の皆さ んと共に"まちそだて"に励みたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

●京谷 朋子(きょうたに ともこ)



12月より週2日、コーディネーターをさせていただいております。昨年7月までは東京で塾の講師として、 約 10 年間勤めてきました。9 月にスタートした"まちそだて講座"を受講し、いつの間にか(?!) まちづ くりスポット神戸のスタッフとして皆様とご一緒させていただくことになりました。皆様のお越しをお待ち いたしております。

パソコン教室の風景



(阪神SITAクラブ)

生きがいしごとサポートセンター事業

コミュニティヒ´シ´ネス(CB) 団体視察バスツアーを開催

11月21日(木)、CBを行っている4団体を視察するバスツアーを行いました。セカンドライフの新たな挑戦として起業し、シニア世代の仲間と一緒に、いきいきと活動されている団体の様子をご報告します。

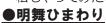
●阪神SITAクラブ

「シニア I Tアドバイザー」たちが10年前に設立したパソコン教室で、メンバーは10人。活動は阪急西宮北口の教室のほか、個別対応や障がい者就労支援のための指導などです。「常に勉強が必要で、向上心を満たせる"心地いい"活動を目指しており、生きがいになっている」ことが継続の秘訣だそうです。参加者からは「明るく楽しそうな雰囲気」「教える側、教わる側の双方にプラスがある」等の感想がありました。

●めいまいガーデン

神戸市垂水区の明舞センター内のレンタルBOX。運営されているのは東北の震災で未知の土地 神戸への転居を余儀なくされた松井さんです。来店者に

はお茶を出しおしゃべりを楽しむことで、モノだけでなく人もつないできました。参加者から「おもしろい取り組み。 私もやってみたい」との声が聞かれました。



10年前にスタートして以来、主に高齢者を対象に配食サービスを行なってきました。週4日営業、配食先80数戸、食堂内でも30~40食が出ます。担い手は地域の主婦を主体に38人で、80歳以上が4人。元気高齢者の職場です。食材にこだわり、塩分を控え目にし、弁当容器は配達先ニーズに対応、風呂敷での配達という心配り。参加者は、明石鯛のマリネが主菜の定食に舌鼓を打ち、「おいしい」の連発でした。

●東灘こどもカフェ

2年前に子どもの食育をテーマにスタート。現在は高齢者から子どもまで会員205人、シニア層を中心としたボランティア約30名のスタッフで支える地域の居場所です。多彩なイベント企画に加え、地域の人たちが得意技を活かして「先生」を務める教室など、誰もが主役になって活躍できる場として賑わっています。「ルールがないのがルール。気付いた人が動く」。代表の中村さんからお聞きした印象的な言葉でした。(狩野)

市民活動サポート基金事業

2013年度第1回選考委員会を実施

10月31日、2013年度第1回目の市民活動サポート基金選考委員会が開催されました。5団体の報告を受けるとともに、新たに3団体への交付が決定されました。以下、今年度新たに交付が決定した団体をご紹介します。(飛田)

<u>-般社団法人みんないっしょ/洲本市</u>

事業名:地域住民交流事業 代表者:原竜也

<申請内容>

金額: 150,000円

淡路圏域は高齢化率が 30%を越えており、予定されている介護保険法の改正に伴って地域の受け皿の整備が急務である。代表者は、昨年ケアマネージャーの資格を取得し、家族や仲間とともに地域の居場所作りに取り組み始めた。高齢者が特技を生かせて講師になれるようなディサービスを開設する。助成金は印刷機や広報のための費用に充当予定。

介護ライブラリ/西宮市

事業名:写真を見ながら自由にデイサービスを選べる情

報サイト「介護ライブラリ」事業

代表者: 山本由美子 金額: 150,000円

<申請内容>

高齢者や家族がデイサービスを選ぶ際、十分な情報を得ることは難しく、また文字情報が主である。元介護士の代表者が阪神間を中心に介護事業所へ取材に赴き、現在、130ヶ所の基礎情報と活動の様子を写真で掲載している。助成金はサイトのリニューアル費として充当予定。

NPO 法人フリーヘルプ/加古川市

事業名:チャリティショップ「FREEHELP 長田店」運営事業

代表者: 西本精五 金額: 300,000円

<申請内容>

古着等の不要品を無料で引き取って販売し、売上を NPO 等に寄付する「チャリティショップ」を3店舗運営。新規開設された長田店では、DV(ドメステッィク バイオルンス)被害に取り組む「NPO 法人女性と子ども支援センター ウィメンズネットこうべ」と連携し、売上の寄付の他に、古着のアイロンがけ等を通じた被害女性の就労支援も行う。助成金は女性たちへの謝金の一部とする。







ひょうごボランタリープラザ(兵庫県社会福祉協議会)助成事業



1. NPOマネジメントスクール事業

オリジナル支援キットが大活躍!

NPO マネジメントスクールは 1997 年に神戸で産声を上げ、今年度で 17 年目の実施となりました。名称が少し変更になった時期もありましたが、これまでに兵庫県内の NPO 団体の役員や職員を中心に延べ 1000 人以上の方が受講しています。目的は SWOT 分析、戦略マップ、バランス・スコア・カード(BSC)を中心に学び、組織運営の支援ノウハウを取得することです。今年度は、12 月 11 日、12 日、17 日の 3 日間、それぞれ阪神・播磨・神戸の 3 エリアで実施し、定員を上回る合計 45 名の方々にご参加いただきました。(実施にあたっては「NPO 法人市民事務局かわにし」「認定 NPO 法人コムサロン 21」にお世話になりました。ありがとうございました。)

今年度の特徴は「オリジナル支援キット」をテキストとして使用したこと。これまでのエッセンスを、①講義 DVD、②テキスト、③ケース・スタディ本文、④ケース・スタディ・サポートガイドの4種類のキットにまとめ、講座後も自団体で実践していただけるようにしました。また実際にNPOの代表者をお迎えし、「3年後のビジョン」についてどのようにBSC に落とし込めるのか、をグループ内で議論しました。

受講者からは「マネジメントというとイメージが大きく、具体的に何から初めていいのか分からなかったが、このようなやり方があるのかと思った」、「プロセスを通じて、共感し合える仲間が重要だと改めて気付くことができた」、「ついていけるかな、と不安に思いながらの受講でしたが参加型だったのであっという間に1日が終わりました」といったご意見をいただきました。一方で「ケースだけではなく自分の団体のBSCを作りたい」、「実際に使ってみてわからないところがあれば相談に行きたい」という声もありましたので、急遽1~2月にかけてフォローアップ研修を行うことになりました。この研修は今回の講座の受講生が主な対象ですが、それ以外でも、もし興味があるという方がおられましたら、お問い合わせください。(飛田)



2. プロボノ事業

「実践的NPO監事プロボノ養成講座」がスタート

プロボノとは「仕事で培った経験を活かして行う社会貢献ボランティア」のことです。CS神戸は本年度の取組みとして、企業でのマネジメント経験のある方や専門資格をお持ちの方々に、NPOでの監事(役員)として地域にかかわるための養成講座を開催しました。その狙いは、事務作業やイベントなどのお手伝い、高齢者の生活サポートといった現場での仕事だけではなく、NPOのカバナンス(組織統治)という舞台で活躍していただける方を育てたい、ということです。監事の仕事は、理事の業務執行や法人の財産の状況について、法令・定款・諸規則に基づいた実施・報告がなされているか、を確認することです。現場第一線の活動に注意が集中しがちなNPOにとって、活動基盤の整備を動機づけ、外部に対して社会的法人としての信頼性を証明する監事はとても重要な役割を担っています。

講座は「基礎コース」(4日)と「体験コース」(3日)に分かれています。

基礎コース 1 日目は、CS神戸中村理事長より「NPOの基礎講座・事例紹介」に続いて、現在ご活躍中の先輩監事お二人(CS神戸・松下監事/月と風と・泉監事)からその経験や魅力をお話しいただきました。2 日目は視察ツアーで、高齢者福祉や多世代交流をしている「東灘地域助け合いネットワーク」と、障がい者総合支援法に基づく活動を行っている「飛行船」を見学しました。3 日目、4 日目は、昨年度に作成した「監査チェックリスト」に基づいて、NPO会計支援センターの荻野代表より、業務監査、会計監査の説明を行いました。

体験コースでは、事例団体となっていただいたNPOについて模擬監査を実施しました。チェックリストの項目一つ一つに関して、実態はどうなのか? 出来ていないとすれば何故なのか? を業務監査・会計監査の両面について確認しました。またファシリテーターとしてご参加いただいた、芝氏(NPO法人「よつ葉会」理事・事務局長)と、基礎コースにご参加いただい

た泉氏の二人が関係する団体での状況も合わせてお伺いしました。いよいよ最終日には受講者より、各自で作成した監査報告を一人ずつご発表していただく 予定です。

受講者は基礎コース 13 名、体験コース 8 名で、全くNPOを知らない方から、既にかかわっている方まで幅広く、女性は基礎コースの 1 名だけでした。比較的女性の参加の多いCS神戸の講座としては、これまでにない独特の雰囲気(?)です。受講者からは、事例団体では「理事長が一人でやられているようで、お手伝いしたい」などの声もあり、講座の修了者には、監事を求めているNPOへのご紹介とアフターフォローができればと考えています。(岡本)

体験コースの様子。事例団体の課題は何か?





JR住吉駅前自転車駐車場(神戸市指定管理事業)

「駐輪禁止キャンペーン」&「障がい者との落ち葉清掃」



CS神戸では場外の一般道路に放置されているめいわく駐輪の指導 業務を受託しています。4月-11月の実績で見ると管轄エリア内の 放置車両数は 1 日平均 44 台もありますが、禁止看板の設置や日々の 活動の成果により前年比 4 割近く減少しています。しかし、曜日別 に見ると日曜日は大変多く、9-11月では平日が平均20台に対し て日曜は90台で、最も多い日は115台でした。そこで今回はこれ までのキャンペーンのやり方を変更し、日曜日(12月8日)の午後

に、めいわく駐輪が集中する国道2号線沿いで実施しました。CS神戸が8名と神戸市東部建設事務所3名、東灘警察署2名の 合計13名が参加し、チラシ配布や声かけを行いました。

駐輪場では障がい者の方に、上記の指導業務とともに、昨年度に引 き続いて住吉神社裏の道路と駐輪スペースの落ち葉清掃を行ってい ただきました。10月21日~12月17日まで、月~金の各曜日に 1団体ずつ、合計5団体に来ていただき、延べ70名の障がい者の方 にご参加いただきました。この結果4月-11月の障がい者有償ボラ ンティアの受入人数は236名となり、前年比で58名増加していま す。今後も、障がい者の方に参加していただける新たな活動メニュー づくりに取組んでいきたいと思っています。(岡本)



現場リーダー (佐藤正義) より「ひと言」

薄暗い早朝の厳しい寒さの中、チケットの販売や、自転車を黙々と整理する青い制服の背中には「C S神戸」の文字があります。生活に欠かせない駐輪場ですが、料金を払っていただけない方や駅周辺で のめいわく駐輪など、いろいろな問題もあります。利用者の方への細やかな対応を通じて、これらの問 題を少しでも解決したいと日々地道な取組みを続けています。また場内には四季折々の草花を置き、気 持ちよい環境づくりにも力を入れています。きれいで親切な駐輪場としてこれからも地域に貢献してい きたいと思っています。



東灘区民センター小ホール(神戸市指定管理事業)

「魚崎親子防災教室」&「区民カレッジ」

魚崎親子防災教室は11月9日(土)に開催し、親子13組と地域の方々が合 計58人参加されました。 魚崎児童館と連携し、子どもたちが地域の課題に触れ、 学びあう機会を提供することが目的です。魚崎町防災福祉コミュニティから魚崎町 津波防災マップを配布して頂き、どんな経路で逃げると安全かを調べたり、DV D「釜石の奇跡」を視聴して、地震・津波の際の行動について学びました。特に 高さ4mのブルーシートを使用した津波の再現は、とても迫力のある体験になり ました。子どもたちからは、津波の恐さや「魚崎小学校に避難すれば、大丈夫だ と思っていたけど、間違いだった」などの声もあり、いろいろと学ぶことが多か ったようです。また「わが家の持ち出し品を親子で考えるコーナー」では、自分



のリュックに入れる品物を選び、リュックの重さ体験したり、非常食として、アルファ米、ビスケット、缶パンの試食を行い ました。非常食を各家庭で備えることの重要性を親子で学べる体験が出来たように思います。

「ひがしなだ区民カレッジ」は、市民の方が得意とすることを教えたり、また別の方から教わったりできる「場」を提供して います。今後次のような講座を予定しています。ぜひご参加ください。(兵頭) <お問い合わせ 078-453-0151>

講師	2014年3・4月講座予定	日程
奥田 玲子	書いて覚える百人一首	3/12(水)10:00~11:30
増田 初美	安全・安心な食生活シリーズ3/ 健康食品を考えよう	3/17(月)13:30~15:00
田中豊茂	家紋って何? 一家紋の起こり、歴史、由来を探る一	4/19·26(土)13:30~15:00

※「墨象と絵手紙」、「英語で読むシャーロック・ホームズ」、「脳がいきいき楽しい造形~臨床美術」、「親子で遊ぼう!! 子育て ふあいリトミック」は好評につき継続して開催しています。



東北震災支援事業

大槌町・「がばちょ」の寄付者になりませんか

大槌町での復興支援では新しいプログラムとして、復興地域通貨によるまちづくりを提案しています。

復興地域通貨は、買物・通院介助・掃除・イベント・手仕事等の地域の助け合い活動をした場合に、その対価として支払われる通貨で、最終的に地元加盟商店で一般商品と交換できます。つまりお金として使用できます。地域内の助け合いと商店復興を組み合わせたもので、さわやか福祉財団の主導で、釜石・南三陸等被災地で始まろうとしています。大槌町では、地元の蛇口氏のデザインで大槌らしい紙幣「がばちょ」が出来上がりました。「がばちょ」の命名も勿論住民自身で。200円券と300円券で小中学生でも使える単位とし、何度か体験会を経て、いよいよ春から本格始動するところまで準備ができました。体験会での感想は、遊び感覚で楽しく活動できる、年齢を問わず参加できる等、好評です。

次なる応援は、この仕組みがある程度継続するよう寄付者を募ることです。寄付者のお名前は「がばちょ」に記名され、 最終的にはどのような活動が成されたのか報告もさせていただきます。多くの寄付者に支えられ、助け合い活動が活発に行 われるよう流通の促進を図りたいと思います。せめて仮設住宅がある間は応援したい・・・、どうですか、あなたのお名前 の書かれた通貨「がばちょ」は、かっこいいですよ。(中村)

地域通貨の「がばちょ」200円券





岩手県大槌町の場所



大槌町のフォトギャラリー

神戸市の方から頂いた布地を サンガ岩手へ寄贈



手工芸品の華ぼっくり







CS神戸の近況・あれこれ



中学生・高校生が仲間入り

トライやるウィークの中学生と、御影高校の生徒が訪れました

初々しいトライやるウィークの中学生。 事務所で職員に質問をしています。



「シニア対象の活動が多いね~」と言われる CS 神戸ですが、いくつかのプログラムでは若者も活躍しています。まず、毎年恒例の中学生の職業体験プログラム「トライやるウィーク」。住吉中学校、魚崎中学校から1週間にわたって、合計21名を受け入れました。CS 神戸本部事務局での事務作業、駐輪場でのチケット販売や自転車の整列、小ホールでの広報ちらし整理など、様々な地域でのお仕事を体験していただきました。現場が一気に若返り、賑やかになりました。

また、今年度は初めて兵庫県立御影高校の総合人文コースともご縁をいただきま した。「地域の現状を知り、政策提

言する」ことを目的とした授業の 一環とのことです。授業でお話を

し、8名の学生さんが現場体験に来てくださいました。どんな提言をいただけるのか、楽しみです。(飛田)



<担当の先生よりのメッセージ>



(兵庫県立御影高校 特色教育推進部 池田拓也教諭) 兵庫県立御影高等学校総合人文コースは、探究活動 を通じて主体的に行動できる人材を育成することを目指 す特色あるコースです。このコースに所属する2年生4

O名は、昨秋より「グローバルスタディ課題研究」という授業の中で、地域の現状や課題を知り政策提言を行うという学習を始めました。授業では、東灘区役所やCS神戸をはじめとする6つのNPO団体などにご協力を頂いています。CS神戸にお世話になっている生徒は、JR住吉駅の駐輪場について学んでい

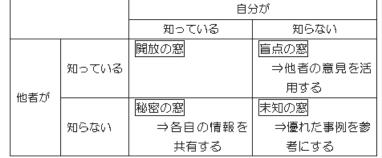
ます。地域で活躍されている大人の方と高校生が出会い、地域を見つめる授業は、生徒たちにとって新鮮かつ刺激的です。授業時間だけでなく、放課後や冬休み中にも自主的に活動する生徒が多数いるほどです。3月8日(土)には、御影クラッセでこの授業の成果を発表する予定です。地域の皆様、是非ともお越しください。

「第22回 スタッフ研修」&「2013年度 新春のつどい」を開催しました!

スタッフ研修

職員がともに学び合う場として継続的に実施しているスタッフ研修を12月1日(日)、CS神戸の事務所で開催しました。 理事長以下、リーダー全員(9名)と非常勤スタッフ1名が参加、トータルアドバイザーの星野裕志氏(九州大学大学院経済学研究院教授)に進行をしていただきました。星野氏から「ジョハリの窓」の説明を聞いた後、事業イノベーションのきっかけとすべく、各プロジェクトの担当者に対して他のスタッフから <ジョハリの窓>

「あなたならどうする?」と題して、新たな事業アイデアや活動テーマを互いに提言し合いました。自らの事業のことばかりを深く考えていると視野が狭くなりがちで、メンバー間の連携を通じた相乗効果も生まれにくくなります。スタッフからは様々な意見やコメントが出されましたが、他者の意見に耳を傾けることでいろいろな気付きや可能性が見えてきました。今後のCS神戸の革新的な取組みに乞うご期待!?



新春のつどい

CS神戸とご縁のある皆さまへ、感謝を込めて毎年実施している催しです。例年は12月に行っているのですが、今回は1月10日(金)に開催しました。職員を含めて51名の参加があり、CS神戸5大ニュースの発表やゲストのリレートーク、歌と演奏、そして今年の干支である午年生まれのSさんの抽選で豪華プレゼントなどなど……。お互いの交流の場として楽しいひと時を過ごしました。また来年度も行いますのでぜひご参加下さい。(岡本)



世代ごとの歌のメドレーリレー。歌詞カードがあればよかった!!



どうなる?! 私たち神戸の高齢者ケア 介護予防・総合事業 神戸フォーラム

いつまでも暮らし続けることのできる神戸市を目指し、介護予防事業等に関するサービスの実態把握と新規開発、さらに市民参加の機会創出の両面から研究を行っています。新たな仕組みやサービス、地域資源、コーディネーター等に関する研究会の内容を広く関係者や市民の方々にお伝えするとともに、第一次提案として神戸市に提出するためのフォーラムを開催します。ホームページにもご案内があります。

〈日 時〉 2月11日(祝) 午後1時30分~5時

〈場 所〉 神戸三宮研修センター

〈定員〉 150名(先着順の受付

〈参加費〉 500円(資料代)



〈プログラム〉

第一部「介護保険改定における最新の状況について」 上田智也氏(神戸市介護保険課長)

第二部 研究活動の経過 介護予防・総合事業神戸研究会からの提案

■主催:「介護予防・総合事業に関する神戸研究会」 (事務局: CS神戸)

◆協力 : さわやか福祉財団、ひょうごん福祉ネット、

◆後援: さわやか近畿ブロック、神戸市、コープこうべ、神戸市社会福祉協議会、神戸市ケアマネージャー連絡会、神戸市シルバーサービス事業者連絡会

◆お問い合わせ先: 小林、柳井、植木

人と向き合い・支え合う「コミュニティビジネス」 を目指している方のための

起業セミナー

社会性と事業性を両立させながら 子どもの支援をしている団体のノウハウが学べます

絵画教室を主軸に、学習支援や農業などに取り組む一般 社団法人クルレ。障がいの有無に関わらず、子どもの居場 所としての役割を果たしています。

クルレの代表、赤堀富子さんが、起業の準備から運営方法まで、そのノウハウをたっぷりとお話します。

人の支援事業をしたいとお考えの方、運営や事業拡大に 悩んでおられる方、必見の講座です。

<日 時> 3月1日(土)14:00~16:00

<場 所> CS神戸事務所

<受講料> 1,000円



NPO決算準備セミナー 正確な決算でNPOの信頼UP!

会計年度が4~3月の団体では、そろそろ決算が気になる時期になりました。そこで、NPO法人として必要な決算処理ができるよう、やるべきことをしっかり学べる決算準備セミナーを開催します。

具体的な実務処理に絞っており、会計処理のスキルアップにもつながる講座です。初心者の方、初めて決算処理をするという方も、ぜひご参加ください。

<日 時> 2月1日、8日(土)13:30~16:40

<場 所> CS神戸事務所

<講 師> 荻野俊子さん(NPO 会計支援センター)

<受講料> 4,000円(2日分)

会費・寄付・寄贈をいただき、 誠にありがとうございました



(期間:2013 年 10/1~12/31、順不同・敬称略)

【会費】増金祐次、尾山宗久、野津隆志、森田正純、岡田雅幸、 根矢光二、長澤マリ、池田加代子、安元邦夫、松元隆平、 樋口孝子、樋口晴男、垣口哲朗

> NPO法人フリーヘルプ、ジューニコミュニティケア、 一般社団法人みんないっしょ、

【寄付】中村順子、野津隆志、飛田敦子、村上義弘、国枝哲男

2013 年度の会員継続をお願いいたします!

市民活動を共に支えて下さる賛助会員(個人・団体)の方々を募集しております。

【会 費】個人会員3,000円/年、団体会員10,000円/年 【振込先】名義 NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 郵便振替 00950-2-144205

<訃報>

国枝哲男氏(CS神戸元事務局長・プロデューサー)が20 13年12月31日、ご逝去されました(享年63)。10年間に 渡りCS神戸の中核スタッフとして、新しい公共の領域を 切り拓き、NPOの草創期を築いてこられました。特に、最 後の数年は丹波との地域間交流など、農業を軸とした活 動に注力されました。どんな時も明るく、太陽のような笑顔 が印象的だった国枝さん。ここに深く感謝し、ご冥福をお 祈りいたします。

編集後記

他の団体の方から「CS神戸では多くの事業や活動を実施していますね」、とよく言われます。地道に継続しながらも、仮設検証サイクルに基づいて改善を行っているもの、時代が求める新しい芽生えを見据えてスタートした事業が混在し、まさに不易流行といった感があります。変えてはいけないこと、変えるべきところ、その見極めとバランスを大切にしつつ「学習する集団」でありたいと思います。(O)